



2024年度 事業報告

公益財団法人東京YWCA

目次

東京YWCA 2024 年度基本方針・重点課題.....	1
I 平和と人権事業.....	2
日本で学ぶ外国人留学生支援／留学生助成／中国帰国者日本語支援／平和をつくるキャン ペーン／平和と人権に関する人材育成／NPO/NGO 団体への語学支援	
II 青少年育成事業.....	6
教育キャンプ／体験学習／学習支援／青少年リーダー養成	
III 女性の健康事業.....	9
女性の健康づくり／疾患後の女性の健康づくり／障がい児・者の健康づくり	
IV 社会福祉に資する事業.....	10
療育（NPO 支援）／発達支援相談／発達支援体験／障がい児家族支援体験／高齢者電話相談／ 読むことが困難な人々への支援（DAISY）／地域における居場所／療育（児童発達支援セン ター）／障がい児・者介護／高齢者介護／介護予防体験／統合保育／学童保育	
V 非営利機関・団体への施設貸与事業.....	14
VI 公益目的事業共通.....	14
事業に参加したボランティア	
VII 収益事業および共益的な事業.....	15
不動産賃貸／フィットネスクラブ／語学事業及び教養講座／販売／理解普及（会員グループ）	
VIII 法人管理.....	16
会員数／職員数／広報物／世界YWCA・日本YWCAが実施した集会・研修等への派遣／ YWCA関連の海外からの来訪者	
2024 年度公益財団法人東京YWCA組織図.....	17
理事・監事・評議員.....	17
財務諸表.....	18
事業を行っている主な拠点	

東京YWCA 2024 年度基本方針・重点課題

2024 年度の基本方針・重点課題は、加盟する日本YWCA のビジョン(※)をふまえ、以下のとおりとした。

- 基本方針**
1. 非戦の立場に立ち、平和憲法を護り、活かす。
 2. 核兵器のない世界、原発のない社会を目指す。
 3. 持続可能な環境の実現に努める。
 4. いのちを尊び、平和を願い求める青少年を育てる。
 5. 個人の尊厳を重んじ、支え合う社会を目指す。

- 重点課題**
- ・ 憲法改悪阻止と、武力によらない平和の実現のために行動する。
 - ・ 女性の人権と健康を守り、ジェンダー平等を実現する。
 - ・ 多様性を受容できる寛容な社会に向けて行動する。
 - ・ 非核の立場から原発について学び、脱原発を目指して行動する。
 - ・ 地球環境に関心を持ち、温暖化抑制のために行動する。
 - ・ ユースのエンパワメントを推進する。

東京YWCA の定款に定めた目的である「すべての人びとのために自由と尊厳、正義と平和を実現する」ために、公益目的事業を柱として事業を実施した。第二次大戦後、一貫して核否定に立つ YWCA にとって、2024 年 10 月の日本原水爆被害者団体協議会（被団協）のノーベル平和賞受賞は、とりわけ意義深いことだった。紛争が続くパレスチナやウクライナへの支援、平和と人権のプログラムのほか、青少年育成、女性の健康、社会福祉の事業分野においても後述の通り社会のニーズに応えた。

キリスト教の基盤に立ち、加盟する日本 YWCA・世界 YWCA や、関係団体との連携を図りながら、多くの皆様の支援と協力により事業を継続することができた。

(※)日本YWCA 第 33 総会期 主題聖句・ビジョン・ミッション・バリュー

- | | |
|--------------|--|
| 主題聖句 | 平和を実現する人々は幸いである — マタイによる福音書 5 章 9 節 |
| ビジョン | 女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切に社会 |
| ミッション | 若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。 |
| バリュー | <ol style="list-style-type: none">1. キリスト教基盤
すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣（なら）って行動します。2. 平和・環境
アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。3. 人権
人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。4. セーフ スペース
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。 |

I 平和と人権事業 (公益目的事業 事業番号：公1)

この事業は、平和、非暴力、非核、非戦を訴え、人権が尊重され、すべての人が共に生きる世界の実現を目指し、社会で不当な圧力を受けやすい人々を支援する事業です。

1. 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

1 人の留学生と 1 人の東京YWCA会員（母親）による家庭交流は例年通り 6 月から開始した。8 月に、留学生との家庭交流をする上で、悩みや迷いについて会員同士で意見交換を行い、ベテラン会員が新人会員にアドバイスした。2 月には東京弁護士会から講師を派遣してもらい、入管法、在留資格、国民健康保険、国民年金等の理解を深めた。留学生の母親として留学生に気をつけてほしいポイントを確認した。

留学生相談室は、相談員養成が出来なかったため休室した。留学生や会員からの相談の問い合わせは、事務局が対応した。留学生談話室は通常の談話室のほか、夏祭り、クリスマス、節分等の行事を体験するプログラムも実施した。

2. 留学生助成事業

東京YWCA「留学生の母親」運動奨学金は、5 人に支給した。5 人の抱負は、国際・社会問題を発信する職を目指す、日本で働く外国人を支援する公認会計士になる、外国の子どもたちに日本語や文化を教える、生活に役立つロボットを設計する、発育不良の野菜を有効活用する食料管理システムを作りたい等であった。10 月に奨学生の前期の様子を聞く報告会を開催した。夏休みのアルバイトや資格取得のための勉強の報告を聞き、参加した先輩留学生が奨学生に就職活動や起業するための情報、大学院進学の勉強方法等アドバイスをした。1 月に寄付者を招き報告会を開いた。

3. 中国帰国者日本語支援事業

日本語学習サロンは、主に日本語教室を修了した高齢の帰国者を対象に日本語の運用力を身につけ、社会参加をうながすことを目的に 8 月を除き、年間を通して、月に 2 回対面で開催した。帰国者の参加は 4 人となっている。

4. 平和をつくるキャンペーン

平和、非暴力、非核、非戦の啓発活動は、6 月に沖縄慰霊の日をおぼえて、SNS でキャンペーンを行った。恒例の憲法カフェは 9 月に第 41 回を実施した。10 月 11 日に日本被団協のノーベル平和賞受賞が発表された。11 月に日本被団協の濱住治郎さんを迎え、講演会と若い世代との対話を開くことがで

きた。武蔵野市民平和月間では、戦争体験の「聞き手」から捉える継承をテーマに、講演会を開いた。2 月末には、平和と女性の人権を学ぶ、韓国スタディツアーを実施した。

「女性の人権勉強会」企画会は、暴力の構造とその予防について学ぶための講演会を 4 月に開き、また横浜YWCAが行っている若い女性のための支援事業を 10 月に見学した。11 月には、米国オアフYWCA CEO の来日に合わせて、ハワイの女性支援の実際について伺った。

Christmas for Peace では、『きよしこの夜』の向こう側—聖書の中のクィアな家族—をテーマに、大嶋果織さん（NCC 総幹事）からメッセージを聞き、家父長制やジェンダー規範について分かちあいの時を持ったあと、希望のツリーにメッセージを飾った。

HIV/AIDS 啓発のためのキャンペーンは、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

紛争・災害時緊急支援事業は、2022 年 2 月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻と 2023 年 10 月から続くイスラエルによるガザ市民へのジェノサイドに対し、ウクライナ、パレスチナYWCA支援のためコンサートや啓発活動としてのウクライナの子どもの絵画展を実施した。絵画展は東京YWCAが事務局を代行し全国のYWCAへ呼びかけ、2025 年 1 月に大阪から巡回展示がはじまった。災害支援は、能登半島地震に対し支援物資発送のほか、東日本大震災による原発事故の現在と避難者となった人々の人権を問うプログラムを通し震災の風化を防ぐ意味を確認した。

なお、女性のリーダーシップ事業をこの事業に追加する変更認定申請は、2025 年 2 月 26 日付で認められた。

5. 平和と人権に関する人材育成事業

支援者エンパワメントプログラムでは、DV被害者を支援する支援者の育成・サポートを目的に、支援者研修を開催し、研修後にフォローアップを行った。また、今年度は 7 年ぶりに支援者研修の講師を養成する講座も実施し、新たな講師の発掘にも努めた。

インターンシップ事業では、6 月から 3 月にかけて学生 2 人を受け入れ、DVやDV被害者支援について学ぶプログラムを実施し、社会に貢献できる人材の養成に努めた。HIV/AIDS

啓発のための人材養成は、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

※支援者エンパワメントプログラムは、運営費の一部に次の助成金を受けて実施した。東京都「令和6年度東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業」、公益財団法人パブリックリソース財団「支援者エンパワメントプログラムのために（Give One サイト）」。

6. NPO/NGO団体への語学支援

英語の和訳・通訳を行うボランティア（いるぶメンバー）に今年度は48人が登録して活動した。依頼された案件は、すべて期限までに納品することができた。新規の2団体より計6件の依頼があった。6月にいるぶメンバーを対象に「いるぶカフェ」を開催し、世界祈祷日パンフレットの和訳依頼元のNCC 女性委員会委員長を迎え、活動内容を伺い、翻訳依頼団体の理解を深めることができた。英訳スキルアップ講座は年2回開催した。

I-1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

家庭交流

「組み合わせ」内訳(人)

会員	26
留学生	27

(留学生2人担当の会員 1)

「組み合わせ」の会員内訳(人)

新会員	6
2年以上の会員	20

「組み合わせ」の留学生内訳(人)

国費生 (文部科学省)	0
日本語学校	16
専門学校	4
大学	4
大学院 (国費奨学生)	3

留学生組み合わせ出身国・地域

国・地域	人数	女性	男性
中国	21	14	7
台湾	3	1	2
ロシア	1	1	0
インド	1	1	0
インドネシア	1	1	0
計	27	18	9

奨学生資金貸与	前年度より継続返済		0
	新規	長期貸与	0
		短期貸与	0
奨学生資金供与			0

支援事業の年間プログラム	日にち	延参加者数			
		会員	留学生	一般	合計
家庭交流について留学生向け説明会(オンライン)	5/15	4	24	1	29
留学生対象: 組み合わせ申込者の面接	6/3,4,5,8,10	13	27	-	40
初めての交流ガイダンス	6/29	6	-	-	6
対面の会	6/29	44	22	6	72
夏祭り 浴衣を着て日本文化を楽しもう!	7/27	23	30	11	64
『お母さん』のおしゃべり会(家庭交流における情報共有)	8/24	7	-	-	7
留学生対象: ホームビジット申込者の面接	11/16	3	22	-	25
留学生による日本語発表会	12/7	20	5	4	29
お母さんの勉強会「入管法と留学生」	2/1	26	-	-	26
母の会(組み合わせ留学生の年齢に関して)	2/8	34	-	-	34
卒業お祝い会	3/8	7	3	-	10

※留学生相談室:開室なし

	日にち	参加留学生	受け入れ家庭
ショートホームステイ【休止】	-	-	-
ホームビジット	1/1～1/5	20	20

	延回数	延ボランティア数		延参加者数	
		会員	一般	留学生	一般外国人
留学生談話室(日本語支援)	32	227	71	265	9
日本語個別支援	875	875	0	875	0

広報物の発行：あゆみ90号（発行部数400）

I-2 留学生助成事業 「留学生の母親」運動奨学金

応募者数	66
------	----

支給奨学生内訳(国・地域別)

韓国	2
ミャンマー	1
インドネシア	1
ベトナム	1
計	5

	日にち	参加者数			
		会員	留学生	一般	合計
第1回奨学生報告会	7/20	10	5	0	15
第2回奨学生報告会	10/26	6	5	6	17
奨学生の集い	1/18	12	5	1	18

※「留学生の母親」運動 特別奨学金は実施せず。

I-3 中国帰国者日本語支援事業 日本語サロン

延回数	延ボランティア数	延参加者数
22	78	60

I-4 平和をつくるキャンペーン

クリスマス	日にち	場所	参加者数
青葉のまつり	11/30	東京YWCA会館	11
Christmas for Peace	12/14	東京YWCA会館／オンライン	30
センタークリスマス(板橋センター)	12/9	板橋センター	24
センタークリスマス(国領センター)	12/11	国領センター	17
センタークリスマス(武蔵野センター)	12/18	武蔵野センター	9

憲法カフェ	日にち	講師	場所	参加者数
第41回 映画『ベアテの贈りもの』上映会	9/14	-	東京YWCA会館	84

女性の人権勉強会	日にち	講師	場所	参加者数
第3回「DV、性犯罪、男が暴力をふるうのはなぜか」	4/13	佐藤和夫	東京YWCA会館／オンライン	39
オアフYWCA並木則子さん講演会	11/20	並木則子	東京YWCA会館／オンライン	30

沖縄関連プログラム	日にち	講師等	SNSの種類
SNSアクション2024／「#わたしと沖縄」キャンペーン	6/16～6/23	石川愛理 崎浜空音 加藤初果 石川勇人	Instagram

Rise Up! School Visits	日にち	ファシリテーター	場所	参加者数
スタディツアーin韓国振り返りの会① 植民地歴史博物館訪問編	6/29	大塚優子	東京YWCA会館	10
スタディツアーin韓国振り返りの会② 性文化研究所LaLaを振り返る	10/5	杉浦綾子	東京YWCA会館	6
スタディツアーin韓国振り返りの会③ Aha! ソウル市青少年性文化センター編	1/25	二宮陽子	東京YWCA会館	9

その他のプログラム	日にち	講師等	場所	参加者数
国家とフェミニズム	8/10	河越英里	オンライン	25
戦争体験の「聞き手」から捉える継承	11/15	石川勇人	武蔵野センター／オンライン	43
日本被団協濱住治郎さん講演会	11/30	濱住治郎、高橋悠太	東京YWCA会館	41
ノーベル平和賞授賞式ライブビューイング	12/10	-	武蔵野センター	20
韓国スタディツアー	2/26～2/28	-	韓国	8
基地のそばで暮らすということ	3/15	明有希子(語り部)	東京YWCA会館	42

紛争・災害関連	日にち	講師等	場所	参加者数
福島第一原子力発電所の今と福島の人びとの思い	6/8	菅波完、市村高志	東京YWCA会館	52
ウクライナの学生とのオンライン交流会	8/31	兵頭博	オンライン	18
ウクライナの学生とのオンライン交流会	9/7	兵頭博	オンライン	14
ウクライナの子どもの絵画展	10/1～11/2	－	東京YWCA会館	入退場自由
ウクライナ／パレスチナ支援チャリティーコンサート	10/12	大月裕夫(ピアニスト)	東京YWCA会館	85
国連人権理事会「国内避難民の人権特別報告書」の意味	3/29	清水奈名子、横山聡	東京YWCA会館	40

他団体との協力	日にち	場所	参加者数
0422市民クリスマス	12/14	カトリック吉祥寺教会	240

※他団体との共催で参加者は概数。

I－5 平和と人権に関する人材育成事業

支援者サロン(DV被害者支援者の交流の場)

延回数	延参加者数
0	0

DVサバイバーと協働するための支援者トレーニング

	日にち	講師数	受講者数
支援者トレーニング(全2日間/計14時間) ※	7/13～7/14	4	20
支援者トレーニングのフォローアップ研修 ※※	9/28	2	10

※内容 1日目 :「DV、サバイバーを理解する」(社会問題としてのDV、社会的抑圧、DVのからくり、サバイバー心理など)

2日目 :「支援に必要なスキルを学ぶ」(サバイバー中心の支援、支援倫理、サバイバーの安全確保、必要な技法、セルフケアなど)

※※対象は、前年度以前も含めた支援者トレーニング受講者。

支援者トレーニングの講師(トレーナー)を養成するための講座

	日にち	講師数	受講者数
トレーナー養成講座	10/25～10/27	1	11

オーダーメイド研修

依頼元	延回数	延講師数	延受講者数
社会福祉法人特別区社会福祉事業団 更生施設 けやき荘	2	2	20
出雲市	1	1	54
社会福祉法人東京援護協会東が丘荘	2	2	20
社会福祉法人特別区社会福祉事業団 宿所提供施設 淀橋荘	1	1	6

インターンシップ

インターン生の人数	2
-----------	---

内容	DV講習	①DVの基礎 ②DV被害者支援の現場を知る ③若年女性支援について知る
交流		①東京YWCAの平和と人権に関するプログラムへの参加 ②日本YWCAのジェンダーに対する取り組みについて聞く
その他		事務局サポート、「女性に対する暴力をなくす運動」啓発活動、NVECフォーラム参加、フォーラム横浜訪問、修了報告会

I－6 NPO/NGO団体への語学支援

依頼団体	件数	依頼内容
公益社団法人Civic Force	4	Newsletter vol.32、33、34、35(英訳)
認定NPO法人国境なき子どもたち	9	2023年度年次活動報告書、友情のレポーター5件、HP記事3件(いずれも英訳)
国際力動的心理療法学会	1	講演・ワークショップの通訳
公益財団法人日本YWCA	1	第41回憲法カフェに参加したオーストラリアYWCAからのゲストの通訳
JAWW(日本女性監視機構)	4	NGOレポート「北京+30」4本と執筆者紹介(和訳)
日本キリスト教協議会(NCC)女性委員会	1	世界祈祷日スライド説明文(和訳)
マイノリティー宣教センター(CMIM)	2	ニューズレター8号、10号(英訳)

	延回数	延講師数	延参加者数
翻訳研修会	2	2	35

Ⅱ 青少年育成事業（公益目的事業 事業番号：公2）

この事業は、子どもたちの固有の人格をかけがえのないものとして尊重し、他者と共に生きるグローバルな視点をもった人として全人格的に成長していくことを支援する事業です。

1. 教育キャンプ

野尻湖周遊道路からキャンプ場へ入るための目印にもなっている通称「上の門」。この先は東京YWCAの私有地であることを示す大切な門は、老朽化のために解体されて数年が経過していたが、5月に復活し、野尻の夏は始まった。

シャワー室のボイラー交換でキャンプのQuality Of Lifeが改善され、新しいYWCA旗がキャンプの一日を見守った。

各キャンプには、グループワークをより実践しやすくなるためのテーマがあり、4年に一度のオリンピックの今年は「のじりんピック」が開催され、わいわいキャンプとチャレンジキャンプのそれぞれの年齢に合わせた種目が繰り広げられた。中高生ガールズキャンプでは、キャンパーが歩いてたどり着いた先にペタウリスタと名付けられたキャンプ場を発見し、後世に「ペタウリスタの楽しみ方(地球の歩き方)」を残した。

小学生の冬休みスキーキャンプでは、ダークプリンセス(黒姫)星の姫と王子に喧嘩の仲直り方法を教え、春休みスキーキャンプでは、天狗のてんピヨの鼻を取り戻す方法を考えた。夏も冬も春も継続して参加しているキャンパーが増え、キャンプの楽しさを体現することで雰囲気盛り上げている。中高生のスキーキャンプは、冬休み春休みともに定員となり、学校や学年の垣根を越えた新たな繋がりができつつある。

春夏秋のゆかりステイは、四季折々の野尻を楽しめることで大人やファミリーに人気のプログラムとなった。

2. 体験学習

青少年水泳は、心身の健全な成長を目指し泳力を養うことを目的にスイミングとアーティスティックスイミング(以下AS)の講習を実施した。ジュニアは初心者ニーズが高く冬期を除いてほぼ満員だった。7月には自分の身を守るための着衣泳を実施、各期の最終日には遊び時間を設け、記録証を渡した。短期講習は春と夏に実施し盛況だった。ティーンズは水泳が苦手な子どもの参加が多かった。ASはおためし1回体験を積極的に実施した結果、受講生が増えた。各期の最終日には練習の成果を発表した。

家族対象の日帰り自然体験プログラムは休止した。昨年度から始めた子どもの居場所プログラム「あそびむし」も、実施目的や内容を検討するために休止した。

3. 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもたちへの日本語・学習支援「いちごの部屋」は、毎週木曜と土曜に武蔵野センターでの対面支援を中心にオンラインも並行して、幼児から高校生までの幅広い年齢層の子どもたちを支援した。保護者からも日本の生活習慣を学びたいなどの支援希望が増えている。

昨年度に続き、東京YMCA多文化共生▽(さんかく)と東京YWCA日本語・学習支援事業で、「外国にルーツのある子どものためのサマーキャンプ」を共同開催し、多数の応募の中から抽選で30人の子どもを受けとめた。

支援ボランティアは、9人が新規登録して35人となり、うち8人がユース(学生・20代社会人)だった。「いちごの部屋ユース会議」で企画した外出プログラムを実行し、成蹊大学のボランティアグループが企画したプログラムにも参加した。また、ボランティア研修として、NPO法人HATI JAPAN多文化多言語の子ども発達支援の東谷知佐子さんを講師に招き、「一人ひとりの子どもをよく見る・よりそう支援とは」をテーマに学びの時をもった。

昨年度に続き、津田塾大学の日本語教員養成課程の授業に委員2人と職員がゲスト講師として参加した。

*運営費の一部を「三菱財団×中央共同募金会〜新型コロナウイルス感染下において困窮する人々を支援する〜外国にルーツがある人々への支援活動応援助成事業」からの助成、また、サマーキャンプは「俱進会」の助成を受け実施した。

4. 青少年リーダー養成

7月に野尻キャンプ場で実施したリーダートレーニングキャンプでは、最初の一泊二日でキャンプを体験しながら、各プログラムの安全面やサポート方法を講義と実技で学んだ。続いて行われた一泊二日の子どもキャンプでは、子どもたちと一緒に活動することで、リーダーとしての知見を深めた。2月には、GALA湯沢スキー場で日帰りのスキーリーダートレーニングを実施した。どちらもベテランリーダーと新人リーダーの交流や連帯感が生まれる機会となった。

他にも、千代田区立スポーツセンターでアーチェリー練習、千鳥ヶ淵ボート場でボート練習などを今年度はトライアルで実施し、スキル向上と指導技術の継承を進めている。

Ⅱ-1 教育キャンプ

*人数は実数

プログラム	開始日	日数もしくは終了日	参加者数			リーダー・講師数	参加人数合計	
			女	男	合計			
教育キャンプ(東京YWCA野尻キャンプ場:長野県野尻湖畔)								
こどもキャンプ (信濃町小学校の子ども対象)	7/14	7/15	13	18	31	19	50	
わいわいキャンプ (小学1年～3年男女)	8/2	8/5	11	7	18	16	34	
チャレンジキャンプ (小学3年～6年男女)	8/8	8/12	14	9	23	17	40	
中高生ガールズキャンプ (中学1年～高校3年女子)	8/13	8/18	12	0	12	8	20	
教育キャンプ(野尻キャンプ場以外:黒姫高原スノーパーク(長野県)、菅平高原スノーリゾート(長野県))								
冬休み小学生スキーキャンプ	12/26	12/29	13	13	26	11	37	
冬休み中高生スキーキャンプ	12/26	12/29	9	6	15	3	18	
春休み小学生スキーキャンプ	3/27	3/30	11	9	20	11	31	
春休み中高生スキーキャンプ	3/27	3/30	11	3	14	2	16	
体験プログラム(東京YWCA野尻キャンプ場)								
春のゆかりステイ	4/27	4/29	11	6	17	0	17	
夏のゆかりステイ	8/20	8/25	27	6	33	0	33	
秋のゆかりステイ	11/2	11/4	3	3	6	0	6	
他団体からの委託キャンプ								
恵泉女学園大学スキーキャンプ	2/4	2/7	2	0	2	1	3	
野尻キャンプ場を提供しYWCAのキャンプリーダーを派遣して行うキャンプ								
HVPCインターナショナルスクール同好会	7/26	7/28	43	18	61	4	65	
竜ヶ崎教会野尻キャンプ	8/18	8/21	14	7	21	4	25	

Ⅱ-2 体験学習

子ども会

	延回数	延ボランティア数	延参加者数
あそびむし(東京YWCA会館)	休止	-	-
子どもクラブももたろう(国領)	休止	-	-

みんなで楽しむアウトドアライフ(親子対象日帰り自然体験)

※休止

青少年水泳

	延回数	延参加者
ジュニアスイミング (小学1年～4年の男女)	113	1875
ジュニアアーティスティックスイミング (小学3年～中学3年の女子)	38	348
ティーンズスイミング (小学4年～中学3年の女子)	37	413
ジュニア短期講習(夏) (小学1年～4年の男女)	7	119
ジュニア短期講習(春) (新小学1年～新4年の男女)	3	57

Ⅱ-3 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもとその保護者を対象にした日本語および学習支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	子ども(6歳から13歳)	10	10	14	14	14	14	15	16	16	19	18	20	-
	〃 (14歳から18歳)	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5	5	-

登録者内訳(2025年3月末集計)	前年度から継続	新規登録	合計
子ども(6歳から13歳)	10	13	23
子ども(14歳から18歳)	8	0	8

運営実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開室日数		9	11	13	13	9	12	13	12	11	11	10	12	136
参加者 (延数)	子ども(6歳から13歳)	31	32	41	37	28	44	48	51	39	46	48	61	506
	〃 (14歳から18歳)	17	22	23	14	7	7	15	10	5	11	10	3	144
	保護者	5	9	8	3	7	5	6	4	3	5	5	6	66
ボランティア (延数)	会員	24	24	28	28	20	24	27	21	23	22	18	26	285
	一般	29	39	42	36	20	34	43	39	31	33	41	43	430

特別プログラム(外出プログラムなど)

	日にち	延ボランティア数	延参加者数
ユニバーサルスポーツ&カルタ大会※	12/1	12	7
外国ルーツの子どものためのサマーキャンプ※※	8/23～25	16	30
おにぎりサンドイッチづくり&公園遊び	3/22	11	9

※成蹊大学ボランティアグループとの共同企画。

※※公益財団法人東京YMCAと共同開催。

ペアレンツカフェ(保護者のためのプログラム)

延回数	延ボランティア数	延参加者数
10	16	15

ボランティア登録数

	登録数(3月末)
ボランティア(会員)	8
〃 (一般)	27

ボランティア研修会

延回数	延講師数	延参加者数
1	1	19

Ⅱ-4 青少年リーダー養成

	期間・回数	参加者数(宿泊ないものは延数)			講師等	参加人数 合計
		女	男	合計		
ワークキャンプ	5/3～5/6	11	7	18	0	18
リーダーストレイニングキャンプ	7/13～7/14	13	6	19	0	19
スキーリーダーストレイニング	2/10	3	3	6	1	7

Ⅲ 女性の健康事業（公益目的事業 事業番号：公3）

この事業は、運動の機会を必要とするすべての女性の心身の健全育成をはかることを目的とする事業です。

1. 女性の健康づくり

サポートコースは、体力の維持・向上、生活習慣病予防などの目標に向けて運動を継続できる一人ひとりを支援した。体組成、握力を測定して、加齢や運動不足による筋肉量減少のリスクなどについてアドバイスした。運動を継続することで筋量を維持している人は多かった。サポートコースメンバーの平均在籍は昨年度とほぼ同様となった。健康セミナーは5月に腹圧性尿失禁の予防に役立つエクササイズ、10月は脳を活性化するシナプソロジー体験を実施した。こころの健康相談は隔月で実施した。からだの健康相談は休止した。

2. 疾患後の女性の健康づくり

乳がん手術後の女性のための「アンコア」は、48期を9月～11月に実施した。参加者は熱心に講義を受け、スタジオとプールでの運動を楽しんだ。情報交換の回では、自分の体験や思いをお互いに聞き合い、交流を深めた。事後アンケートでは、多くの人が動きやすくなって不快感や痛みが軽減し、気持ちの前向きになるなど心身両面の変化がみられた。腰・膝の関節痛の予防、改善のための水中運動「ディーブウォーターウォーキング」は4クラスを通年で実施し盛況だ

った。事後アンケートでは、腰・膝の痛みがやわらぎ階段の昇降が楽になった、ズボンを履くときふらつきがなくなったなど、生活の中で効果を実感している様子が伺えた。

3. 障がい児・者の健康づくり

肢体不自由者水泳「あひるの会」は5月よりスタートした。土曜コースは6月から小学1年生が1人加わり、ボランティアと共に練習に励んだ。木曜コースは出席率が高く、水中での運動を楽しんでいた。ボランティアは4月にオリエンテーションと勉強会を行い、介助方法等を学んだ。

発達に遅れや偏りのある女兒の親子水泳「かめさんくらぶ」は5月から開始した。新規参加者1組が加わり満員となった。子どもたちはそれぞれのペースで楽しみながら泳力を養った。ボランティアはプールに入れない母親の代わりに子どもたちをサポートした。4月のボランティア対象の勉強会では補助の仕方や水泳指導について理解を深めた。

プールでの運動を個別指導する「アクアサポート」は利用者がいなかった。

*肢体不自由者水泳は、社会福祉法人東京都共同募金会からの助成金を運営費の一部として実施した。

Ⅲ-1 女性の健康づくり

サポートコース利用者数			健康セミナー	参加者数
延入会者	延退会者	3月末在籍者	骨盤周りのセルフケア	24
41	33	246	楽しく脳を活性化する「シナプソロジー体験」	13

種別	延回数	延利用者数	種別	延回数	延利用者数
からだの健康相談（休止）	-	-	こころの健康相談	9	9

Ⅲ-2 疾患後の女性の健康づくり

	延回数	延参加者数
乳がん手術後の女性のためのプログラム	8	91
腰・膝の関節痛の予防、改善のための水中運動	167	2087

Ⅲ-3 障がい児・者の健康づくり

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
肢体不自由水泳（あひるの会）	93	184	214
発達に遅れや偏りのある女兒の親子水泳	20	203	48
アクアサポート	0	0	

IV 社会福祉に資する事業（公益目的事業 事業番号：公4）

この事業は、一人ひとりが尊重され、その人らしく生きることのできる社会の実現を目指し、高齢者、障がい児・者とその家族、子育て家庭等の福祉の増進に寄与する事業です。

■個人・団体等のご寄付とこの法人の収益により、以下の事業を実施した。

公4-1. 療育事業（NP0 支援）

この事業では、青年期に入り成人した障がいをもつ人に対して、NP0 法人東京YWCA福祉会が行う就労継続支援B型事業に東京YWCA板橋センターの一部施設を無償貸与し、職員や会員、ボランティアが事業に協力、支援を行った。

公4-2. 発達支援相談事業

発達に課題やニーズがある子どもへの関わりに戸惑いや悩みを持つ保護者に対し具体的な助言の場として役割を果たした。

公4-3. 発達支援体験事業

板橋センターで行う「にじいろ教室」は、陶芸、ヨガ&ダンス、絵画・造形、料理、体操のクラスを実施。ボランティアの積極的な参加も得られ、子ども一人ひとりが活き活きと活動する場となった。国領センターのサッカークリニックは休止した。

公4-4. 障がい児家族支援体験事業

障がいのある兄弟姉妹をもつ子どもと家族を対象に、親同士の情報交換の場「いどばた」ときょうだい児対象のプログラム「きらりんこ」を各々4回実施。ボランティアの積極的な参加も見られた。家族で交流するプログラム「ふぁみりんこ」は、感染予防を考慮し実施しなかった。

東京YWCAのこれまでの取り組みが評価され、板橋区と「『きょうだい児』支援体制構築に関する協定」を結んだ。

自然体験と、様々な家族の出会いと交流を目的とした家族参加プログラム「いっぽの会」は今年度は実施しなかった。

公4-7. 高齢者電話相談事業

「シニアダイヤル」は29年目を迎えた。顔が見えなくても言葉を交わしあう相談の場の大切さを実感している。ボランティアに対して、相談対応の質向上とより良い体制づくりのため、毎月研修を実施し、専門家の指導を行った。対人コミュニケーションやケア学を専門とする都村尚子さんを招き、

苦しみを抱える人との対話について学んだ。また増田琴牧師を講師に尊厳を大切にしながら活動することをテーマにワークを行った。新相談員研修は開催人数に至らず今年度は中止した。

公4-10. 読むことが困難な人々への支援事業（DAISY）

この事業では視覚障害の人に対して音声DAISYを製作し、年間を通してリスナーに届けることができた。通常の活字を読むことが困難な人への支援では、マルチメディアDAISYの過去の製作物を療育の子どもたちに披露した。

一般向けに音訳講習会とマルチメディアDAISY製作講習会を実施した。終了後にはこの事業に関心のある参加者の見学会を実施し、ボランティア確保に努めた。また、朗読家の北島多江子さんを招き、初めて公開で研修会を行った。

*音訳講習会とマルチメディアDAISY製作講習会は、公益財団法人愛恵福祉支援財団から助成を受けて実施した。

公4-12. 地域における居場所事業

2025年2月26日付で、変更認定申請が認められた。

■地方自治体の補助金または助成金事業、委託事業として以下の事業を実施した（別掲の財務諸表を参照）。

公4-1. 療育事業（児童発達支援センター）

制度改正では、本人／家族支援・地域連携のしくみの充実や利用者本位の支援に努める等を計画書に明記することが求められ、改正前から個々に取り組んできたが、さらに強化した。障がい児支援の地域拠点として、事業所間の連絡会や区の協議会などで役割を担い、区の依頼で私立幼稚園要支援児の行動観察は200人を超え、幼稚園教諭研修も担当した。

公4-5. 障がい児・者介護事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護や移動支援等のサービスを行った。幅広い年齢層の利用者一人ひとりに対し、多様な障がいの個別ニーズに応え、利用者の自立と地域での生活継続の実現のため役割を果たした。

公4-6. 高齢者介護事業

介護保険法に基づく居宅介護支援と訪問介護を行った。限られた職員体制でも実績を落とさない工夫を重ねた。11月の板橋センターオープンデーでは「人生で大切にしてきたもの」を短冊に書くコーナーを設け、普段は語られない利用者の思いに触れ、相互理解を深めることにつながった。

公4-8. 介護予防体験事業

調布市高齢者健康づくり事業の一環である「ティーポットサロン」は、女性の健康事業などの協力を得ながら、新しい魅力的なプログラムを提供した。仲間づくりの場として人気が高いが、調布市より事業廃止の方向性が示され、検討を始めるに至った。

公4-9. 統合保育事業

定員を越えて、加配児4人を含む98人の園児に対し、子どもの意志を尊重した保育、保護者の多様な働き方に応じた保育を行った。評価機構のアンケートをもとに、災害時非常電源装置や、園庭からの飛び出しを防ぐ安全柵を設置した。また、保護者連絡支援アプリを導入した。

公4-11. 学童保育事業

染地小学学童クラブは定員通り、わいわい学童クラブは暫定定員85人、布田小第一・第二学童クラブは共に暫定定員75人で実施した。放課後子供教室「あそびバ」3か所とも学童と共同プログラム等を実施し、連携をとりながら過ごした。

IV-1 療育事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キッズガーデン	延日数	15	20	19	23	17	18	22	20	20	17	18	20	229
	延実績利用者数	291	377	350	400	317	389	380	367	309	339	321	265	4105
	延実習生人数	0	0	23	8	12	3	2	6	0	0	0	12	66
シマウマくらぶ	延日数	4	3	4	2	4	4	4	3	4	3	4	5	44
	延実績利用者数	38	26	45	21	38	44	41	29	40	38	37	52	449
	延実習生人数	1	1	1	0	2	1	2	0	3	0	0	0	11

* キッズガーデン:障がい児(未就学児)児童発達支援事業。 シマウマくらぶ:障がいのある小中高生のための放課後等デイサービス(土曜)

キッズガーデン	延回数	延参加者数	シマウマくらぶ	延回数	延参加者数
保護者勉強会	12	10	保護者会	10	100
保護者参加プログラム	33	225	保護者参加プログラム	5	49
統合保育研修会	2	28			
連携訪問	14				

IV-2 発達支援相談事業

児童発達支援センター機能

相談支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害児支援利用計画	契約数	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	1152
	請求数	32	24	22	20	22	19	19	40	13	21	32	22	286
サービス等利用計画	契約数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	請求数	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	7

	延回数	延件数		延回数	延件数
子ども発達支援室(板橋)	5	4	療育個別相談(国領)	-	-
子ども発達支援巡回相談(板橋)	9	9	療育グループ(国領)	-	-
OT相談室(板橋)	-	-			

IV-3 発達支援体験事業

障がいまたは発達にニーズのある子どものための体験活動

		延回数	延参加者数	延ボランティア数
板橋	サポートプログラム にじいろ教室(陶芸)	22	163	12
	サポートプログラム にじいろ教室(ヨガ&ダンス)	11	33	0
	サポートプログラム にじいろ教室(絵画・造形)	22	135	3
	サポートプログラム にじいろ教室(体操)	11	91	3
	サポートプログラム にじいろ教室(料理)	6	40	11
国領	陶芸(小学生以上対象)(国領)	-	-	
	音楽療法(幼児から中学生)(国領)	-	-	
	サッカークリニック 1(小学生)(国領)	-	-	
	サッカークリニック 2(中学生から)(国領)	-	-	
	カシオペア(集団生活スキル 小学生～中学生)(国領)	-	-	

IV-4 障がい児家族支援体験事業

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
障がい児「きょうだいの会」 きらりんこ(きょうだい児対象のプログラム)	4	33	21
障がい児「きょうだいの会」 きらりんこ上級生プログラム(きょうだい児対象)	12	11	0
障がい児「きょうだいの会」 いどばた(親同士の情報交換の場)	3	31	6
障がい児「きょうだいの会」 ふぁみりんこ(家族で交流するプログラム)	-	-	-
いっぽの会(親子参加型の自然体験プログラム)	-	-	-

IV-5 障がい児・者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	在籍利用者数	18	18	17	17	16	16	16	16	17	17	17	18	203
	実績利用者数	18	18	16	16	13	15	16	15	17	15	15	16	190
訪問回数	居宅介護	95	107	105	96	101	93	114	106	101	96	90	98	1202
	重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移動支援	28	36	23	22	9	19	26	20	18	20	20	17	258
	合計	123	143	128	118	110	112	140	126	119	116	110	115	1460
訪問時間	居宅介護	124.25	135.00	144.50	143.00	134.25	134.50	142.25	142.00	130.75	122.00	121.50	132.00	1606.00
	重度訪問介護	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	移動支援	36.00	36.50	27.50	23.50	11.50	14.00	22.50	14.50	17.00	15.50	17.50	13.00	249.00
	合計	160.25	171.50	172.00	166.50	145.75	148.50	164.75	156.50	147.75	137.50	139.00	145.00	1855.00

IV-6 高齢者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護	在籍利用者数	39	40	37	39	38	40	39	39	39	35	36	37	458
	実績利用者数	40	38	35	39	37	39	39	39	40	38	34	36	454
	認定調査	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9
訪問介護	在籍利用者数	29	32	29	33	32	31	30	31	29	28	24	27	355
	実績利用者数	29	32	29	33	32	30	30	31	29	28	24	27	354
訪問回数	要介護1～5	92	93	77	92	88	79	102	93	96	81	56	61	1010
	要支援1～2	84	95	86	93	88	72	69	66	80	75	70	72	950
	自由契約	16	19	13	15	9	7	8	11	10	7	3	7	125
	合計	192	207	176	200	185	158	179	170	186	163	129	140	2085
訪問時間	要介護1～5	109.25	110	90.25	110	103.75	97.75	120.25	110	116	95	64.5	71.5	1198.25
	要支援1～2	77	86.5	78.25	83.25	78.75	64.25	61.5	59.25	73	69	64	65	859.75
	自由契約	17	18.5	14.5	17.25	12.25	10.5	9.25	14.75	7.75	8.5	2.75	6.75	139.75
	合計	203.25	215	183	210.5	194.75	172.5	191	184	196.75	172.5	131.25	143.25	2197.75

IV-7 高齢者電話相談事業

シニアダイヤル(孤独なときの身近な相談相手としての電話相談)

延開室日数	延相談員数	年間相談件数
280	482	1653

研修

	回数	日にち	延講師数	延参加者数
「苦しみを抱えるひととのこころの対話～五感対話法～」(公開研修)	1	10/9	1	38
シニアダイヤル新相談員研修(全9回)	中止	-	-	-

IV-8 介護予防体験事業

	延回数	延参加者数
ティーボットサロン(地域に開かれた交流の場)	20	506

IV-9 統合保育事業

まきば保育園(国領)	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	※実習生受け入れ (年間延べ)120人
	在籍者数(3月末)	9	16	16	19	19	19	98	

まきば保育園地域交流事業

子育て相談 (たんぽぽ広場)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	3	6	10	13	10	11	12	10	9	12	11	11	118
延人数	8	16	45	50	44	29	62	80	76	83	120	116	729

その他の地域交流事業	日にち	参加者
国領オータムフェア	10/19	500

IV-10 読むことが困難な人々への支援事業(DAISY)

ボランティア講習会

講座名	日にち	延講師数 (アシスタント含)	延参加者数
音訳講習会(全9回)	10/8~1/22	9	84
「コミュニケーション力を育む絵本の読み聞かせ」(講演会・公開研修)	11/2	1	40
マルチメディアDAISY製作講習会(全2回)	1/29~1/30	2	22

マルチメディアデジ図書製作

*新規製作なし

IV-11 学童保育事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
わいわい : 定員70人(暫定定員85人)													
在籍数	84	84	84	83	81	77	76	79	79	80	79	79	965
開所日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
延べ利用者数	1405	1431	1366	1373	1004	1161	1281	1256	1210	1208	1085	1275	15055
染地小 : 定員50人													
在籍数	39	42	41	40	39	38	33	34	34	34	34	34	442
開所日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
延べ利用者数	618	659	627	663	521	546	523	503	532	491	460	517	6660
布田小第1 : 定員70人(暫定定員75人)													
在籍数	73	72	72	71	70	62	58	59	58	57	55	55	762
開所日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
延べ利用者数	1252	1250	1221	1246	875	972	1045	948	907	880	841	898	12335
布田小第2 : 定員70人(暫定定員75人)													
在籍数	75	75	74	74	74	74	72	71	71	69	69	68	866
開所日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
延べ利用者数	1250	1267	1220	1311	917	1115	1254	1148	1084	1000	1000	1093	13659
杉森小													
開所日数	25	24	25	26	24	23	25	24	24	23	22	25	290
延べ利用者数	713	860	764	825	473	619	713	562	589	466	477	514	7575
放課後子供教室													
染地小													
開所日数	25	24	25	26	24	23	25	24	24	23	22	25	290
延べ利用者数	271	358	306	300	207	258	323	326	366	275	296	261	3547
布田小													
開所日数	25	23	25	25	24	23	24	24	24	23	22	25	287
延べ利用者数	662	850	870	756	390	589	812	726	696	572	539	534	7996

V 非営利機関・団体への施設貸与事業 (公益目的事業 事業番号：公5)

この事業は、この法人の目的と共通性のある目的をもつ非営利の機関及び団体にこの法人が所有する施設を貸与する事業です。

東京YWCA会館3階及び2階の1部を通年で貸与した。入居テナントに動きはなく、通年、満室で推移した。カフェマンホールや会議室は、非営利団体が開催する講演会や資格試験、会議のために時間貸しした。

非営利機関・団体優先フロア(賃貸契約)

貸与先団体数	10 (12 室)
--------	------------

貸し会議室(時間貸し)

貸与先団体数	14	貸与件数	139
--------	----	------	-----

VI 公益目的事業共通

次の公益目的事業はボランティアによって支えられ無事終了した。参加した人数と参加時間は次表のとおりだった。

事業名	ボランティア延人数	ボランティア延時間
I 平和と人権事業		
事業部共通事項	19	36.5
1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業	1452	2284.5
2 留学生助成事業	64	173
3 中国帰国者日本語支援事業	99	148.5
4 平和をつくるキャンペーン事業	167	381
4 紛争災害時緊急支援事業	61	122
5 平和と人権に関する人材育成事業	9	18
6 NPO/NGO 団体への語学支援	27	114.0
I 合計	1928	3584.5
II 青少年育成事業		
1 教育キャンプ	74	3738
2 体験活動	0	0
3 学習支援	757	2369.5
4 青少年リーダー養成	30	562
II 合計	861	6669.5
III 女性の健康事業		
3 障がい児・者の健康づくり	279	421.5
III 合計	279	421.5
IV 社会福祉に資する事業		
7 高齢者電話相談事業	536	1592.5
10 読むことが困難な人々への支援事業	51	112.5
IV 合計	587	1705
合 計	3655	12073.5

※単発で行なったプログラムは入っていません。

VII 収益事業および共益的な事業

1. 不動産賃貸事業

東京YWCA会館4階から8階はフロアごとに賃貸している。また1階から3階の一部も通年で貸与し、いずれも満室で推移した。時間貸し会議室および機械式駐車場の月極契約は広報が行き届かず、稼働率を上げることができなかったため予算をわずかに下回った。

2. フィットネスクラブ事業

収益事業として運営するフィットネスクラブでは、11月に2週間臨時休業し、空調改修と共に、プールやシャワーの給湯設備工事を実施した。フリーコースメンバーの在籍数は回復傾向にあり、前年度末に比べ40名以上増加した。スクールは水中ウォーキングクラスが堅調である。スタジオでも満員となるクラスが複数あった。健康意識の高いメンバーが増え、パーソナルトレーニングの利用も増えた。エネルギー価格の上昇に伴う諸経費の高騰と、賃上げが理由で、新年度の会費改定に向けて準備を進めた。

3. 語学事業及び教養講座事業

(休止)

4. 販売事業

会館地下のフィットネスクラブに飲料自販機を設置し、利用者へのサービス提供により、些少の手数料収益を得た。

5. 理解普及事業（会員グループ）

グループでの学びや親睦を通して、一人ひとりのリーダーシップを培い、東京YWCAが目指す、平和な社会を実現する人を育てることを目的に事業をおこなった。12月には会員交流会を開催し、グループの枠を超えて日頃の活動の成果を披露し合い、交流の機会を持った。

VII-1 不動産賃貸事業

不動産賃貸(賃貸契約)2024年3月末現在

貸与先団体数	8
(10室)	

貸し会議室(時間貸し)

貸与先団体数	12
貸与件数	53

ゆかりハウス

貸与先団体数	1
貸与件数	1

VII-2 フィットネスクラブ事業

在籍数

	延入会者	延退会者	3月末在籍数
フリーコースメンバー	101	71	322
法人メンバー	0	0	1

パーソナルレッスン

	延参加者数
スタジオマンツーマンレッスン	571
プールプライベートレッスン	94
ミズノアクア	2

スクール

クラス	年間実施回数	累計参加者数	クラス	年間実施回数	累計参加者数
アーティスティックスイミングA	42	410	スイミング中級C	35	494
アーティスティックスイミングB	43	720	スイミング中～上級	44	302
アーティスティックスイミング基礎	40	541	スイミング上級	43	573
アーティスティックスイミング入門	40	299	ダイビング	38	232
水中ウォーキングA	44	727	日本泳法基礎	39	169
水中ウォーキングB	36	473	日本泳法A	42	440
水中ウォーキングC	44	612	日本泳法B	41	205
水中ウォーキングM	44	720	身体とココロのコンディショニング	44	412
スイミング カモメ	44	408	身体調整エクササイズ	44	645
スイミング フラミンゴ	36	608	太極舞	43	260
スイミング初級A	44	386	転倒予防エクササイズ	38	278
スイミング初級B	42	141	バーアスティエ&バレエ入門	43	467
スイミング中級A	44	742	バレエ初級	36	171
スイミング中級B	43	570	リンパビクス	9	40

VII-5 会員グループ(理解普及事業)

グループ登録数	グループ登録者数		
	会員	一般	合計
27	141	27	168

(2025年3月末現在)

VIII 法人管理

VIII-1 会員数 (2025年3月末現在)

	人数
成人会員 (18歳以上の女性)	545
年少会員 (18歳未満の女性)	1
成人会友 (18歳以上の男性)	25
年少会友 (18歳未満の男性)	0
賛助会員	16
合計	587

VIII-2 職員数

常勤職員 (2025年3月末現在) 107人

VIII-3 広報物

名称	発行回数/年	発行部数	単価
東京YWCA	11	1000	なし
Newsletter	2	1800	なし

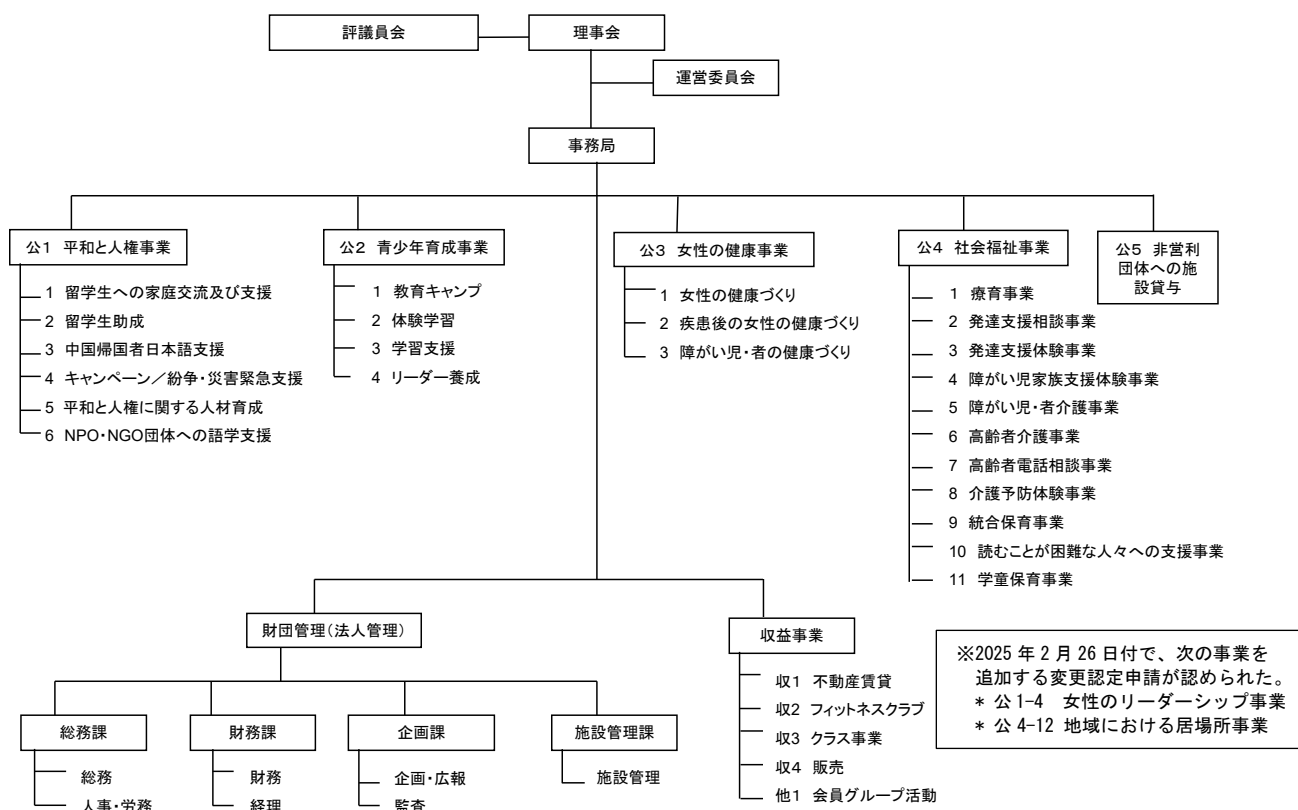
VIII-4 世界YWCA・日本YWCAが実施した集会・研修等への派遣

名称	日にち	場所	東京YWCAが派遣した人数
世界YWCA総会	11/27～12/1	オンライン	代議員 1人、陪席 5人
日本YWCA全国会員総会	11/23～24	国立オリンピック記念青少年総合センター／オンライン	代議員 19人 陪席 0人
国連女性の地位委員会 (CSW69)	3/9～3/15	ニューヨーク	1人

VIII-5 YWCA関連の海外からの来訪者

2024/4/4	フィンランドYWCA	理事他	2人
2024/8/29, 30	中国のローカルYWCA	会長・総幹事	8人
2024/9/10	オーストラリアYWCA	元運営委員	1人

■2024 年度 公益財団法人東京YWCA 組織図



■理事・監事 (2025/3/31 現在)

代表理事 栗林(坂口)和子

常務理事 能美祐子

理 事 稲田恵子 尾崎裕美子 岸(徳永)紀子 高橋りえ子 新美まり 林(土岐)祥子 柳下史織

監 事 柴田幸子 横川民子

■評議員 (2025/3/31 現在)

岩城紀代子 岩村太郎 内山佳子 小澤伊久美 白幡ゆき子 本田真也 町田洋子 桃井和馬

八木昭子 横田(増田)琴 吉岡光人

貸借対照表
2025年3月31日現在

公益財団法人東京YWCA

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	415,273,799	412,845,390	2,428,409
未収金	41,447,782	22,972,172	18,475,610
商品	171,452	196,844	△ 25,392
貯蔵品	210,000	6,475	203,525
前払費用	176,000	176,000	0
前払金	4,304,166	3,681,188	622,978
立替金	0	25,648	△ 25,648
流動資産合計	461,583,199	439,903,717	21,679,482
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本土地	86,917,089	86,917,089	0
基本建物	638,172,310	668,243,243	△ 30,070,933
基本建物付属設備	27	96,285	△ 96,258
基本財産預金	141,000,000	141,000,000	0
基本財産合計	866,089,426	896,256,617	△ 30,167,191
(2) 特定資産			
建物	131,512,265	136,297,701	△ 4,785,436
建物付属設備	34,477,516	36,839,281	△ 2,361,765
構築物	4,403,524	4,830,835	△ 427,311
什器備品	2,095,804	2,339,558	△ 243,754
特定ソフトウェア	253,000	385,000	△ 132,000
女性の健康サポート 特定資産	0	15,000,000	△ 15,000,000
留学生基金特定資産	26,475,423	26,475,423	0
留学生資金特定資産	3,480,732	3,480,732	0
留学生奨学金特定資産	7,219,909	5,946,811	1,273,098
会員サポート 特定資産	800,000	800,000	0
武蔵野拠点運営費積立資産	21,551,665	23,997,561	△ 2,445,896
介護職員研修特定資産	768,947	768,947	0
中国帰国者日本語教室特定資産	1,431,161	1,431,161	0
福島の子どもたちをキャンプに呼ぶ特定資産	1,821,638	1,821,638	0
預り敷金積立資産	135,039,880	135,039,880	0
フィットネス預り保証金引当資産	2,100,000	2,400,000	△ 300,000
野外環境教育預り保証金引当資産	200,000	200,000	0
会館整備費積立資産	172,679,801	172,679,801	0
会館修繕費積立資産	22,214,620	61,814,620	△ 39,600,000
板橋センター増改築特定資産	43,772,050	33,772,050	10,000,000
保育園施設・設備整備特定資産	97,000,000	67,000,000	30,000,000
空調改修工事積立資産	0	340,000,000	△ 340,000,000
プール設備改修工事積立資産	0	19,000,000	△ 19,000,000
デジタルアーカイブ積立資産	501,263	444,003	57,260
フィットネスクラブ施設整備特定資産	0	3,261,940	△ 3,261,940
女性と少女のための人材育成特定資産	10,200,000	10,200,000	0
教育キャンプ実施と施設整備特定資産	41,000,000	41,000,000	0
プール設備整備特定資産	3,964,091	3,964,091	0
療育事業備品等設備整備特定資産	5,694,520	5,694,520	0
キャンプ場施設整備特定資産(フォレストクラブ有志による)	1,973,000	7,000,000	△ 5,027,000
平和キャンペーン特定資産	800,000	900,000	△ 100,000
学習支援いちごの部屋特定資産	1,250,000	1,000,000	250,000
紛争・災害時緊急支援積立資産	176,267	0	176,267
特定資産合計	774,857,076	1,165,785,553	△ 390,928,477

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
(3) その他固定資産			
土地	1,993,095	1,993,095	0
建物	152,460,326	159,240,253	△ 6,779,927
建物付属設備	681,755,144	175,085,770	506,669,374
構築物	3,081,946	2,458,163	623,783
車両運搬具	1	1	0
什器備品	3,174,146	2,633,768	540,378
リース資産	11,520,729	16,530,789	△ 5,010,060
ソフトウェア	4	4	0
差入保証金	50,000	50,000	0
差入敷金	800,000	800,000	0
出資金	40,000	30,000	10,000
その他固定資産合計	854,875,391	358,821,843	496,053,548
固定資産合計	2,495,821,893	2,420,864,013	74,957,880
資産合計	2,957,405,092	2,860,767,730	96,637,362
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	40,936,584	33,438,659	7,497,925
未払法人税等	6,639,100	10,429,600	△ 3,790,500
未払消費税等	0	8,484,400	△ 8,484,400
前受金	4,559,705	4,845,358	△ 285,653
前受会費	0	5,000	△ 5,000
預り金	4,046,357	11,087,483	△ 7,041,126
1年内返済予定長期借入金	11,799,641	2,760,000	9,039,641
1年内返済予定リース債務	5,010,060	5,010,060	0
流動負債合計	72,991,447	76,060,560	△ 3,069,113
2. 固定負債			
長期借入金	109,130,359	20,930,000	88,200,359
預り保証金	2,300,000	2,600,000	△ 300,000
預り敷金	135,039,880	135,039,880	0
長期リース債務	6,510,669	11,520,729	△ 5,010,060
固定負債合計	252,980,908	170,090,609	82,890,299
負債合計	325,972,355	246,151,169	79,821,186
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	364,232,302	392,164,612	△ 27,932,310
補助金・助成金	156,590,297	127,803,924	28,786,373
指定正味財産合計	520,822,599	519,968,536	854,063
(うち基本財産への充当額)	146,876,338	149,701,634	△ 2,825,296
(うち特定資産への充当額)	373,946,261	370,266,902	3,679,359
2. 一般正味財産	2,110,610,138	2,094,648,025	15,962,113
(うち基本財産への充当額)	719,213,088	746,554,983	△ 27,341,895
(うち特定資産への充当額)	263,570,935	657,878,771	△ 394,307,836
正味財産合計	2,631,432,737	2,614,616,561	16,816,176
負債及び正味財産合計	2,957,405,092	2,860,767,730	96,637,362

正味財産増減計算書

2024年04月01日から2025年03月31日まで

公益財団法人東京YWCA

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	14,304	2,802	11,502
基本財産受取利息	14,304	2,802	11,502
② 特定資産運用益	21,630	143,097	△ 121,467
特定資産受取利息	2,712	1,250	1,462
特定資産有価証券利息	0	140,250	△ 140,250
特定資産受取利息振替額	18,918	1,597	17,321
③ 受取会費	3,121,500	3,409,100	△ 287,600
成人受取会費	2,804,500	2,962,100	△ 157,600
年少会員受取会費	2,000	2,000	0
成人会友受取会費	125,000	135,000	△ 10,000
賛助会員受取会費	190,000	310,000	△ 120,000
④ 事業収益	528,215,975	553,719,981	△ 25,504,006
登録費収益	2,433,100	2,873,600	△ 440,500
授業料・講習料収益	63,368,759	57,902,130	5,466,629
フィットネス会費収益	74,087,350	69,250,520	4,836,830
利用料収益	12,404,650	12,209,765	194,885
教材費収益	15,400	41,800	△ 26,400
手数料収益	208,742	193,570	15,172
売上収益	1,096,550	1,298,705	△ 202,155
施設設備利用料収益	4,862,887	4,667,429	195,458
賃貸料収益	271,244,707	308,362,378	△ 37,117,671
障がい児者支援費収益	83,797,696	77,978,825	5,818,871
障がい児者利用負担金収益	1,883,163	4,898,170	△ 3,015,007
相談料収益	17,500	20,000	△ 2,500
高齢者介護報酬収益	11,652,447	12,869,665	△ 1,217,218
高齢者利用負担金収益	1,089,124	1,135,824	△ 46,700
高齢者受託収益	53,900	17,600	36,300
⑤ 受取補助金等	395,114,123	385,137,139	9,976,984
受取地方補助金 助成金	57,493,270	56,512,560	980,710
受取民間補助金助成金	2,415,596	3,511,346	△ 1,095,750
受取受託収益	306,132,070	274,015,440	32,116,630
受取補助金等振替額	29,073,187	51,097,793	△ 22,024,606
⑥ 受取寄付金	38,788,770	18,534,955	20,253,815
受取寄付金	7,076,946	6,859,049	217,897
受取寄付金振替額	31,711,824	11,675,906	20,035,918
⑦ 雑収益	9,256,175	8,006,863	1,249,312
受取利息	527,961	12,175	515,786
その他雑収益	8,613,514	7,904,688	708,826
受入研修費収益	114,400	90,000	24,400
利用者等外給食費収益	300	0	300
経常収益計	974,532,477	968,953,937	5,578,540
(2) 経常費用			
① 事業費	916,617,415	928,287,122	△ 11,669,707
職員給料手当	103,466,220	105,583,289	△ 2,117,069
職員通勤手当	3,520,909	3,563,567	△ 42,658
職員法定福利費	17,264,684	18,034,191	△ 769,507
職員中退共退職金	3,640,937	3,393,797	247,140
教員給料手当	190,518,420	184,858,500	5,659,920
教員通勤手当	4,754,781	5,081,364	△ 326,583
教員法定福利費	30,720,490	29,187,006	1,533,484
教員中退共退職金	6,883,820	7,311,980	△ 428,160

科 目	当年度	前年度	増 減
非常勤給料手当	138,188,291	133,705,835	4,482,456
非常勤通勤手当	5,735,873	5,129,619	606,254
非常勤法定福利費	9,756,075	9,567,864	188,211
福利厚生費	1,641,113	1,798,056	△ 156,943
手数料	5,944,573	6,219,882	△ 275,309
委託費	32,741,811	50,209,662	△ 17,467,851
支払報酬	14,801,903	11,546,265	3,255,638
消耗品費	12,547,148	14,573,591	△ 2,026,443
消耗備品費	0	174,900	△ 174,900
食材費	10,616,361	10,501,567	114,794
旅費交通費	8,719,629	7,908,081	811,548
通信運搬費	6,842,279	7,428,507	△ 586,228
印刷製本費	366,854	255,883	110,971
広告宣伝費	99,000	11,000	88,000
会議費	362,842	472,184	△ 109,342
渉外費	27,515	28,172	△ 657
諸会費	364,028	324,028	40,000
教材費	3,097,304	3,204,977	△ 107,673
新聞図書費	246,756	227,564	19,192
研修費	177,940	471,600	△ 293,660
賃借料	3,868,301	3,752,943	115,358
リース料	8,197,160	8,627,445	△ 430,285
仕入費	861,040	1,024,009	△ 162,969
修繕費	33,480,063	12,500,651	20,979,412
衛生清掃費	20,050,242	20,502,358	△ 452,116
光熱水費	60,635,973	60,354,227	281,746
保険料	3,729,632	3,699,200	30,432
公租公課	81,303,975	107,411,310	△ 26,107,335
支払寄付金	195,716	483,982	△ 288,266
保守点検料	11,377,947	10,958,779	419,168
奨学給付費	1,800,000	1,490,000	310,000
支払利息	269,100	302,220	△ 33,120
雑費	1,211,908	613,921	597,987
減価償却費	76,588,802	75,793,146	795,656
②管理費	41,632,273	40,579,849	1,052,424
職員給料手当	11,874,223	12,946,138	△ 1,071,915
職員通勤手当	524,543	543,409	△ 18,866
職員法定福利費	2,037,276	2,311,223	△ 273,947
職員中退共退職金	70,483	215,683	△ 145,200
非常勤給料手当	1,748,327	1,126,740	621,587
非常勤通勤手当	79,741	45,829	33,912
非常勤法定福利費	511,047	229,971	281,076
福利厚生費	84,760	32,901	51,859
手数料	1,725,216	671,205	1,054,011
委託費	4,328,154	3,837,937	490,217
支払報酬	1,517,959	2,824,912	△ 1,306,953
消耗品費	879,192	860,081	19,111
旅費交通費	385,841	243,233	142,608
通信運搬費	1,383,431	1,431,780	△ 48,349
印刷製本費	2,030,454	2,006,835	23,619
会議費	5,699	6,923	△ 1,224
渉外費	50,750	39,534	11,216
諸会費	120,972	48,972	72,000
加盟分担金	4,221,000	4,090,000	131,000
教材費	0	5,200	△ 5,200
新聞図書費	23,185	31,051	△ 7,866
研修費	405,000	275,460	129,540
賃借料	106,365	101,376	4,989

科 目	当年度	前年度	増 減
リース料	136,818	214,575	△ 77,757
修繕費	696,088	133,510	562,578
衛生清掃費	324,570	312,131	12,439
光熱水費	1,659,547	1,688,232	△ 28,685
保険料	301,593	309,755	△ 8,162
公租公課	2,190,295	1,771,270	419,025
保守点検料	582,426	845,926	△ 263,500
雑費	33,374	15,199	18,175
減価償却費	1,593,944	1,362,858	231,086
経常費用計	958,249,688	968,866,971	△ 10,617,283
評価損益等調整前当期経常増減額	16,282,789	86,966	16,195,823
当期経常増減額	16,282,789	86,966	16,195,823
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① その他の雑収益	660,000	9,453,146	△ 8,793,146
還付金	0	277,600	△ 277,600
その他雑収益	660,000	9,175,546	△ 8,515,546
経常外収益計	660,000	9,453,146	△ 8,793,146
(2) 経常外費用			
① 事業費	0	481,100	△ 481,100
公租公課	0	481,100	△ 481,100
② その他の雑損失	250,413	0	250,413
雑損失	250,413	0	250,413
③ 固定資産除却損	384,263	250,005	134,258
建物付属設備除却損	360,959	250,004	110,955
構築物除却損	23,302	0	23,302
什器備品除却損	2	1	1
③ 受取補助金等返還額	346,000	313,000	33,000
経常外費用計	980,676	1,044,105	△ 63,429
当期経常外増減額	△ 320,676	8,409,041	△ 8,729,717
当期一般正味財産増減額	15,962,113	8,496,007	7,466,106
一般正味財産期首残高	2,094,648,025	2,086,152,018	8,496,007
一般正味財産期末残高	2,110,610,138	2,094,648,025	15,962,113
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益	18,918	1,597	17,321
特定資産受取利息	18,918	1,597	17,321
② 受取補助金等	57,859,560	53,152,770	4,706,790
受取地方補助金 助成金	57,859,560	53,152,770	4,706,790
③ 受取寄附金	3,779,514	11,482,606	△ 7,703,092
受取寄附金	3,779,514	11,482,606	△ 7,703,092
④ 一般正味財産への振替額	△ 60,803,929	△ 62,775,296	1,971,367
一般正味財産への振替額	△ 60,803,929	△ 62,775,296	1,971,367
当期指定正味財産増減額	854,063	1,861,677	△ 1,007,614
指定正味財産期首残高	519,968,536	518,106,859	1,861,677
指定正味財産期末残高	520,822,599	519,968,536	854,063
III 正味財産期末残高	2,631,432,737	2,614,616,561	16,816,176

補助金及び助成金
2024年4月1日から2025年3月31日

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金助成金						
(公1:平和と人権)東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業	東京都	0	640,000	640,000	0	
(公4)調布市民間保育所等運営費等補助金	調布市	67,000,000	60,054,760	30,054,760	97,000,000	特定資産
(公4)調布市延長保育事業費補助金	調布市	0	614,300	614,300	0	
(公4)東京都保育士等キャリアアップ補助金	東京都	0	11,612,000	11,612,000	0	
(公4)東京都保育サービス推進事業補助金	東京都	0	6,990,000	6,990,000	0	
(公4)調布市運営費等補助金(市基準・運営費)子育て広場	調布市	0	1,600,000	1,600,000	0	
(公4)調布市保全樹木等せんだい補助金	調布市	0	118,200	118,200	0	
(公4)調布市保全地区等の保全に関する補助金(保護樹)	調布市	0	71,990	71,990	0	
(公4)調布市高齢者健康づくり事業補助金	調布市	0	600,000	600,000	0	
(公4)保育施設等新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費補助金	調布市	0	195,000	195,000	0	
(公4)社会福祉施設等への非常用電源等整備促進事業補助金	東京都	0	3,750,000	3,750,000	0	
(公4)板橋区障がい児療育訓練事業補助金	板橋区	0	9,426,000	9,426,000	0	
(公4)板橋区児童発達支援センターサービス推進事業補助金	板橋区	0	14,829,000	14,829,000	0	
(公4)児童発達支援センター地域支援体制確保事業補助金	東京都	0	394,000	394,000	0	
(公4)狛江市民間保育所補助金	狛江市	0	54,530	54,530	0	
(公4)府中市民間保育所委託費・補助金	府中市	0	146,820	146,820	0	
(公4)世田谷区民間保育所委託費・補助金	世田谷区	0	34,070	34,070	0	
(公4)東京都障害者児童福祉施設物価高騰対策支援金	東京都	0	236,160	236,160	0	
(公4)東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業補助金	東京都	0	2,702,000	2,702,000	0	
(公4)東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業補助金	東京都	0	414,000	414,000	0	
(公4)板橋区障がい者(児)福祉施設物価高騰対策支援金	板橋区	0	870,000	870,000	0	
民間補助金助成金						
(公1)支援者エンバワメントプログラムのために パブリックリソース財団(Give oneサイト)	(公財)パブリックリソース財団	0	5,896	5,896	0	
(公1)日本YWCA com7300 リフレッシュプログラムー関連プログラム	(公財)日本YWCA	0	50,000	50,000	0	
(公2:学習支援)外国人ルーツの子どものためのサマーキャンプ	(公財)俱進会	0	300,000	300,000	0	
(公2:学習支援)赤い羽根「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」	(福)中央共同募金会	0	920,000	920,000	0	
(公3)東京都共同募金会配分金 肢体不自由者水泳指導のために	(福)東京都共同募金会	0	300,000	300,000	0	
(公4:保育園)独立行政法人福祉医療機構借入金利子補給費	(公財)東京都福祉保健財団	0	269,100	269,100	0	
(公4:保育園)クラブサークル活動助成金	(福)福利厚生センター	0	24,000	24,000	0	
(公4:保育園)生活習慣病予防健診助成金	(福)福利厚生センター	0	46,600	46,600	0	
(公4)音訳講習会、マルチメディアデイズ講習会後援支給金	愛恵福祉支援財団	0	500,000	500,000	0	
合 計		67,000,000	117,768,426	87,768,426	97,000,000	

事業を行っている主な拠点

東京YWCA会館	〒101-0062 TEL 03-3293-5421 (代表) FAX 03-3293-5570	東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
東京YWCA板橋センター	〒174-0043 TEL 03-5914-1854 FAX 03-5914-1852	東京都板橋区坂下 1-34-25
東京YWCA国領センター	〒182-0022 TEL 042-483-5151 FAX 042-483-5207	東京都調布市国領町 7-11-1
東京YWCA武蔵野センター	〒180-0004 TEL 0422-27-5871 FAX 0422-27-5872	東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-9-28
東京YWCA野尻キャンプ場	〒389-1312 TEL 026-255-2414	長野県上水内郡信濃町富濃

公益財団法人東京YWCA

URL: <https://www.tokyo.ywca.or.jp/>
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
2025 年 6 月発行